

R 6 大崎中学校の教育グランドデザイン

学校教育目標

「誰一人取り残さない学びの保証」を基盤として

- (自律)** 自ら考え、判断し、行動できる
 - (共生)** 他者を尊重し、対立から合意を導くことができる
 - (創造)** 多様な人々と協働し、新たな価値や解決策を生み出すことができる
- 生徒を育成する。

めざす生徒像

- 誰一人取り残されない環境を構築できる生徒
- 自ら考え、判断し、行動できる生徒
- 違いを理解し、他者を尊重できる生徒
- 対立を合意形成で解決できる生徒
- 多様な人々と協働して、新たなアイデアや解決策を生み出すことができる生徒

めざす学校像

- 学校教育目標を軸として、全ての教育活動を企画、運営する学校
- 誰一人取り残されない環境を保証する学校
- 生徒の自律に向けた授業改善、行事改善等に努める学校
- 多様な他者との共生を基盤とした人間関係づくりに努める学校
- 保護者、地域等と同じ目標を共有する学校

学校経営方針

- 1 学校教育目標を軸として、全ての教育活動を企画、運営する。
- 2 目標達成に近付くための手段として、PDCAサイクルも基にした運営を行う。
- 3 全ての教育活動において、誰一人取り残されない（個別最適な）環境を整える。
- 4 他者を尊重し、対立を合意形成で解決できる生徒を育成するための人間関係づくりに努める。
- 5 自ら考え、判断し、行動する生徒を育成するための授業改善、行事改善等に努める。
- 6 職員・生徒がウェルビーイング実現を目指して、それぞれが意識し行動していく環境づくりに努める。
- 7 保護者やCS等に対する積極的なガイダンスにより同じ目標を共有し、協力体制の強化を図る。

特色ある教育活動

目標を軸とした教育活動
ユニセフ・SDGsの推進

PDCAサイクルによる運営
活発なコミュニティスクール

令和の大崎型郷中教育

学びの充実

- 人権教育の充実
- 道徳教育の充実
- キャリア教育の充実
- 基礎・基本の定着の推進
- 学びの共同体を活用した授業の推進
- 自由進度学習と教え合い学習の推進
- 異年齢による自治的な活動の推進
- 個や能力に応じた教育の推進
- 体力・運動能力の向上
- 健康教育の充実
- 食育の充実

環境の充実

- 誰一人取り残されない環境の構築
- ICT活用の学習環境づくり
- 学びを止めない学習システムの構築
- 異年齢集団など教え合う環境の構築
- 自律を育むための場の構築
- 心を休めるスペースや時間の構築
- 係活動など自己有用感を育む環境の構築
- 校内外の安全管理の推進
- 清潔で整理整頓された環境の構築
- 美しく機能的な設営の構築

つながりの充実

- 地域等へのガイダンスの充実
- コミュニティスクールとの連携、活用の推進
- PTA活動のスリム化機能化の推進
- HPや配布物など情報発信の充実
- 地域人材の活用の推進
- SC、SSWとの連携、活用の推進
- 外部機関との連携、活用の推進
- PDCAサイクルを活用した専員研修や学級活動の充実
- 教職員の外部研修参加への推進